

今週のメニュー

■トピックス

◇感染対策に抗ウイルス性床ビニルシートの活用を！

■随想

◇天気図と歴史

気象予報士・防災士 水越 祐一

■編集後記

■トピックス

◇感染対策に抗ウイルス性床ビニルシートの活用を！

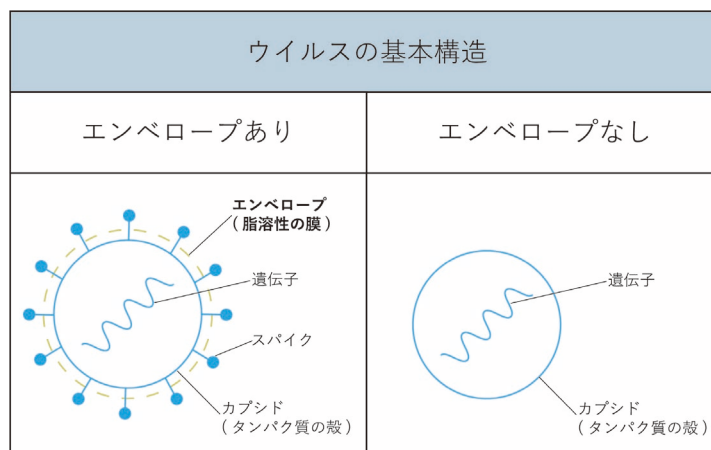
ウイルスによる感染症拡大によって、多くの商業施設、医療福祉施設や教育施設が多大な影響を受け、私たちの生活にもその影響が及んでいます。そこで、今注目されている床材業界初の抗ウイルス・抗菌性能を持つ複層ビニル床シートについて紹介します。※1

[ロンシール工業\(株\)](#)が2013年に開発した、「ロンプロテクトシリーズ」「CTシリーズ」は、独自の抗ウイルス技術により、特定のウイルスや細菌が床シート表面に付着した場合、抗ウイルス効果（ウイルスを抑制する）や抗菌性を発揮します。防汚コーティング層に抗ウイルス性・抗菌性が高い成分を配合しており、この防汚コーティング層は、均一な層を形成しているため、効果が長期間期待できることが特徴です。

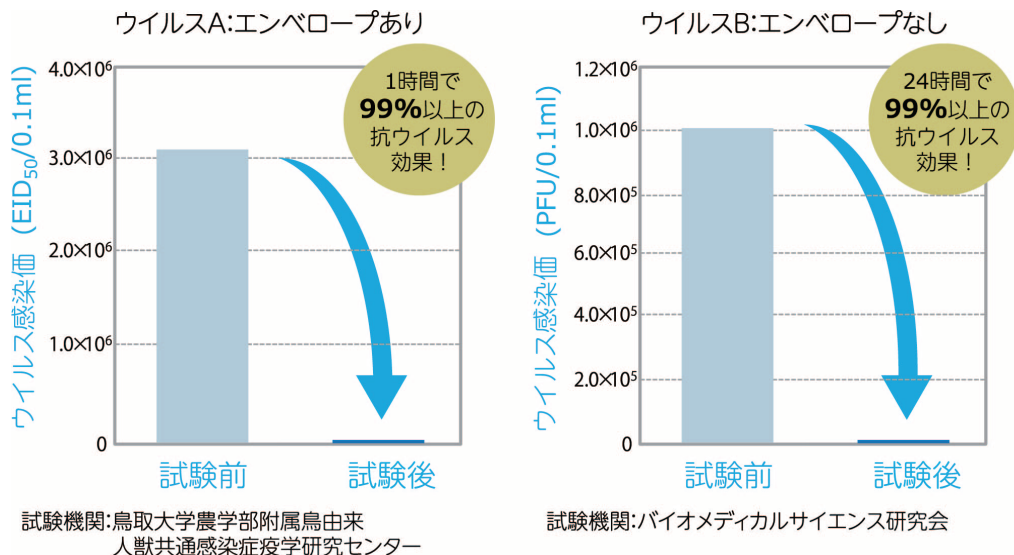


ロンプロテクトの施工例

また同製品はウイルスと細菌どちらも第三者機関で効果が認められています。特にウイルスに対しては、代表的なウイルス2種で試験を行い、エンベロップ（ウイルスの脂溶性の膜）ありのウイルスAは1時間後に、エンベロップなしのウイルスBでは24時間後にそれぞれ99%以上の抗ウイルス効果を確認しています。※2



ウイルスの構造(イメージ図)



※本検証は試験機関でのウイルス感染価の指標であり、使用条件や使用方法により効果が異なる場合があります。
 ※本製品は医薬品や医療などの目的としたものおよび、感染予防を保証するものではありません。

抗ウイルス試験の例

(ウイルス感染価：ウイルスの感染力の指標)

また、耐薬品性を付与し、ノーワックスメンテナンス仕様となっているので、ランニングコスト削減にもつながります。

同社は、「1947年に塩ビ素材を使った初の製品を世に送り出して以来、半世紀以上にわたりさまざまな産業や暮らしに密着し将来を見据えた製品づくりを行ってきました。今後も『人と地球にやさしいものづくり』をテーマに製品開発に取り組み、現在世界的に問題となっている感染症の拡大に対する一助となることを願っております。」と話しています。

最近、商業施設、教育施設、医療福祉施設、研究施設、食品工場、幼児施設などから抗ウイルス性床ビニルシートの引き合いが増えているとのことで、清潔・衛生的な生活につながると期待されます。

※1 ロンシール工業調べ

※2 本検証は試験機関でのウイルス感染値での指標であり、使用条件や使用方法により、効果が異なる場合があります。抗ウイルス加工は、製品上の特定ウイルスの数を減少させますが、医薬品や医療などの医療を目的としたものではありません。

■ 随想

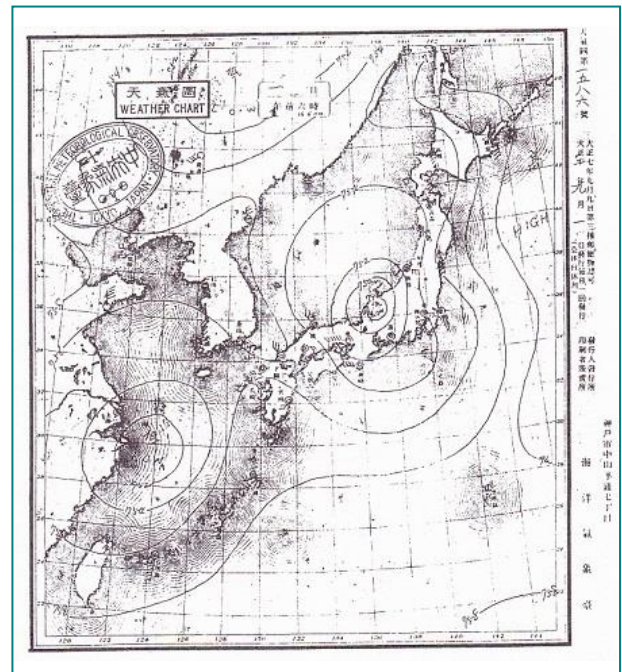
◇ 天気図と歴史

気象予報士・防災士 水越 祐一

気象庁に現存する最古の天気図は、1883年（明治16年）3月1日のものです。日本列島に等圧線が何本か引かれただけで、今の天気図と比べるととてもシンプルですが、それでも西ほど気圧が低いことから、天気が下り坂という傾向を読み取ることができます。そして驚くべきことに、この日から現在に至るまで毎日の天気図が残っています。歴史好きの私は、過去の天気図を見ていると、その日の空を思い浮かべながらタイムスリップをしたような感覚になります。今回は、歴史的に重要な日の天気図をいくつか紹介します。みなさんもタイムスリップを試してみましょう。



1883年3月1日_日本最古の天気図



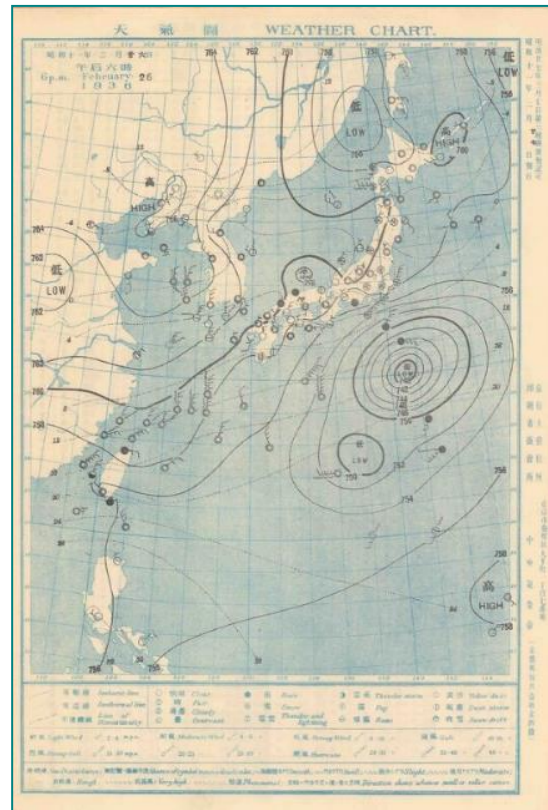
1923年9月1日_関東大震災

1923年9月1日

関東大震災は1923年9月1日11時58分に発生、地震後に発生した大規模火災の被害が大きく、死者の9割が火災によるものです。この日の午前6時の天気図を見ると、台風が北陸付近にあります。中心気圧が748mmHg（997hPa）ですので、かなり弱い台風ですが、関東付近の等圧線が混んでいて、強い南風が吹いていたことが分かります。この強風が火災を大きくする一因となりました。東京では地震直後の12時に南南西12.3m/sを観測、台風が進むにつれて風向きが西風、北風と変わり、夜には21.8m/sまで強まりました。風向きが大きく変化したことで、延焼の方角も次々と変わり、被害を広範囲にしてしまいました。

1936年2月26日

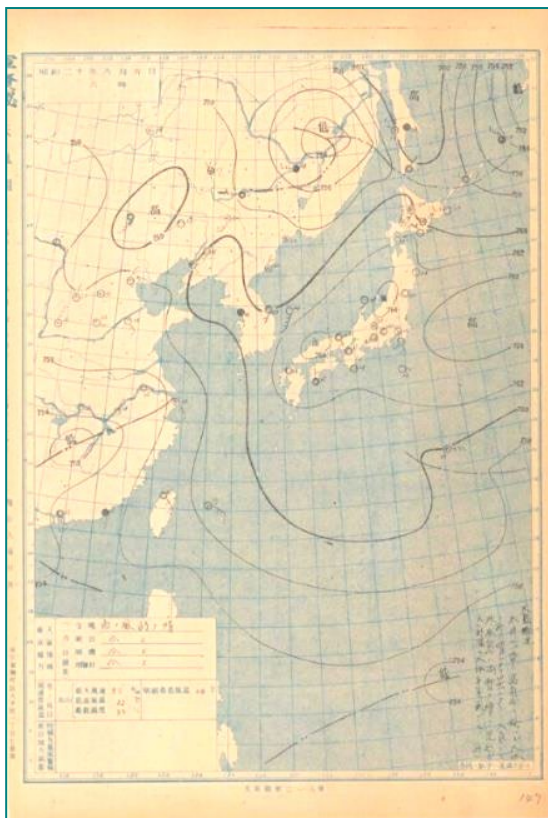
下村湖人『次郎物語』で主人公・次郎の恩師・朝倉先生は言います。「日本では、雪の日によく血なまぐさい事件が起こるものだね。四十七士の討ち入り、桜田門外の変・・・しかし、今度の事件ほど暗い運命的な感じのする事件はないね。」その血なまぐさい事件、1936年2月26日の二・二六事件は、東京で大雪が続く中で発生しました。この日の午後6時の天気図を見ると、関東で大雪になるパターン、南岸低気圧が進んでいることがわかります。東京では積雪22cmを観測しました。クーデターは雪が溶ける前に失敗に終わりますが、日本はさらに軍国主義へと突き進んでいきます。



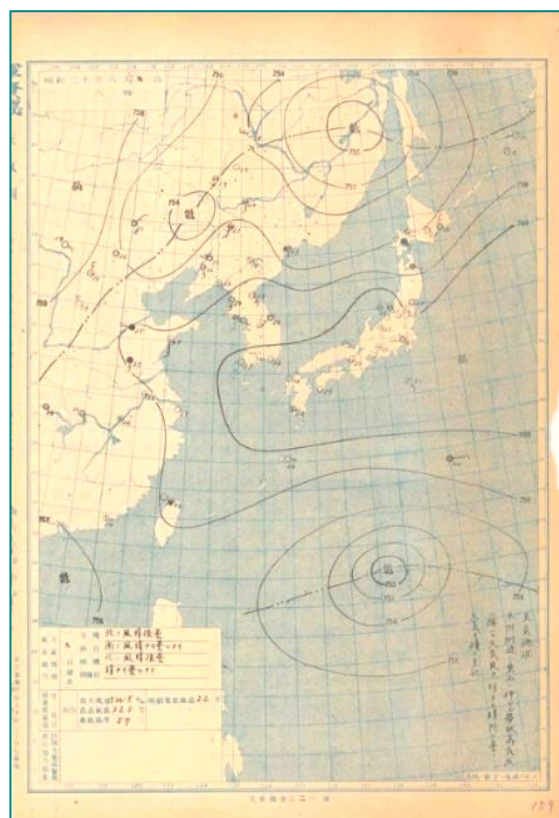
1936年2月26日_二・二六事件

1945年8月6日、8月9日

1945年8月6日、広島に原爆が投下された日の午前6時の天気図を見ると、ほぼ広島の真上に高気圧が解析されています。広島の観測データも記録されていて、天気は快晴、風力2と風は弱く、気圧は764mmHg (1018hPa) でした。この約2時間後、8時15分を思うとたまらなくなります。8月9日の天気図では、高気圧の勢力が弱まり、西日本が気圧の谷になっています。九州には雲が広がっていました。B29は、第一目標の小倉の視界が悪かったため、第二目標の長崎で雲の切れ間から原爆を投下しました。



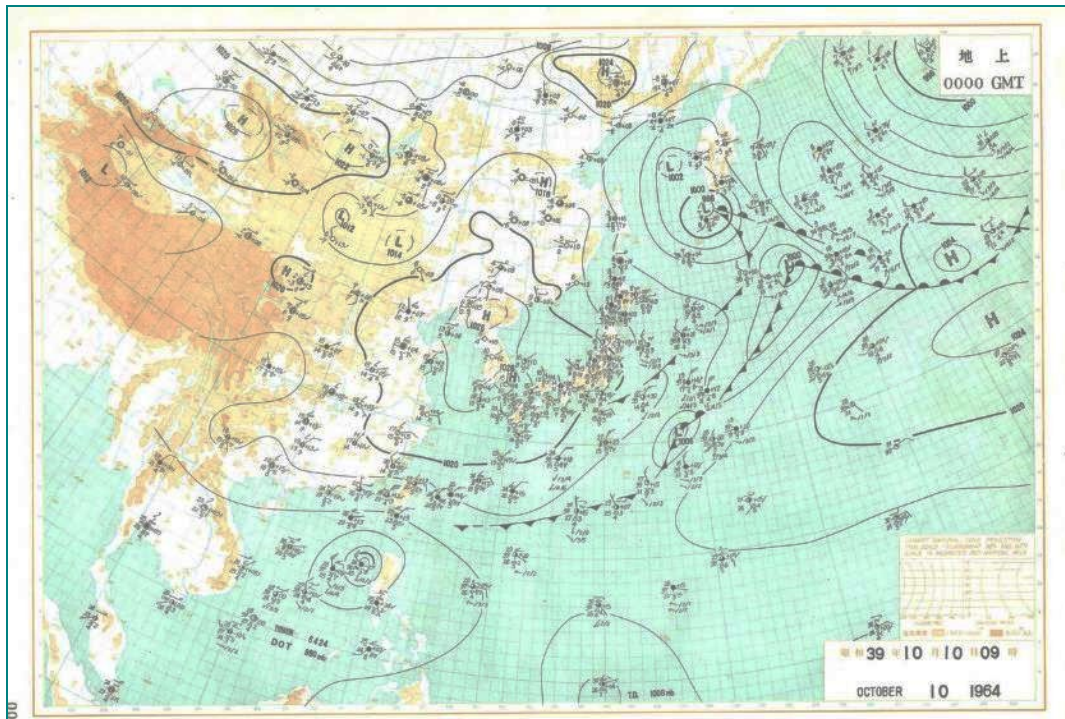
1945年8月6日_広島原爆



1945年8月9日_長崎原爆

1964年10月10日

1964年10月10日、東京オリンピックの開会式が雲一つない青空の下で行われました。開会式を実況していたアナウンサーは「世界中の青空を全部東京に持ってきてしまった。ような、素晴らしい秋日和でございます。」と伝えたほどでした。この日の朝9時の天気図を見ると、朝鮮半島に中心を持つ高気圧が日本列島を広く覆っていますが、列島を通り過ぎた寒冷前線が関東のすぐ東にまだあります。低気圧の通過により前日の夜遅くまで雨が降っていましたが、低気圧が遠ざかり高気圧が進んできたために急速に天気が回復したのです。周期的に天気が変わる中での幸運な青空だったようです。



1964年10月10日_東京オリンピック

原典：気象庁「天気図」、加工：国立情報学研究所「デジタル台風」

⇒ [バックナンバー](#)

■ 編集後記

○「子どもとためす環境まつり WEB 版」開催中！

東京都中央区環境保全ネットワークが主催する「[第 17 回 2020 年 子どもとためす環境まつり WEB 版](#)～ネットを通して環境について学んでみよう！～」が、インターネット上で開催されています（2020年10月17日（土）～2021年3月末）。

VEC の参加は今年で 12 回目になります。今回は、「塩ビって なんだろう？」というタイトルで、塩ビが身近な素材で、地球や人にやさしい素材であることを、小学生を対象に動画で紹介しています。以下の URL よりご覧ください。

<https://youtu.be/14OIR39MlpE>

○「おしごと年鑑 2020」web 版公開！

VEC は朝日新聞が発行している「おしごと年鑑 2020」に協賛しています。小・中学生へのキャリア教育を支援する教材で、企業・団体の協力 135 社の 140 テーマを 5 つのカテゴリなどで紹介しています。全国の小中学校や教育委員会などに 7 万部が寄贈されています。2020 年 10 月 16 日より、WEB 版が「[おしごとはくぶつかん](#)」のサイトに公開されました。仕事に関して子どもが素朴に思う質問に対して、企業の担当者が丁寧に答えるわかりやすい構成で紹介しています。

VEC は「未来を生み出す科学技術のお仕事」のカテゴリに、「食品サンプルは、何でできているの？」というタイトルで、塩ビが身近な存在でエコな素材であることやリサイクルなどについて紹介しています。以下の URL よりご覧ください。

<https://www.oshihaku.jp/nenkan/page/13727321>

■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)

※本メールマガジン上の文書・画像等の無断使用・転載を禁止します。



■ 東京都中央区新川 1-4-1

■ TEL 03-3297-5601 ■ FAX 03-3297-5783

■ URL <http://www.vec.gr.jp> ■ E-MAIL info@vec.gr.jp
